

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 20 年 2 月 14 日 (2008.2.14)

【公開番号】特開 2001-218256 (P2001-218256A)  
 【公開日】平成 13 年 8 月 10 日 (2001.8.10)  
 【出願番号】特願 2000-376208 (P2000-376208)  
 【国際特許分類】

H 0 4 Q 7/36 (2006.01)

H 0 4 M 3/00 (2006.01)

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 B 7/26 1 0 4 A

H 0 4 M 3/00 D

H 0 4 L 12/56 2 0 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 12 月 11 日 (2007.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信システム中でメッセージを制御するための方法であって、前記方法が、第 1 の移動体交換センター (MSC) から、第 2 の移動体交換センター (MSC) を同定するメッセージブロッキングリクエストを、システム制御機能コンポーネントにおいて受信するステップと、前記第 2 の移動体交換センター (MSC) から前記第 1 の移動体交換センター (MSC) へ、メッセージが通信されることを防止するステップを有することを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記防止するステップは、前記システム制御機能コンポーネントにおいて実行されることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

メッセージブロッキングコマンドを、前記第 2 の移動体交換センター (MSC) に送るステップをさらに有することを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

前記防止するステップは、前記第 2 の移動体交換センター (MSC) において実行されることを特徴とする請求項 3 記載の方法。

【請求項 5】

前記メッセージブロッキングリクエストは、ブロッキングピリオドの期間を特定することを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

前記メッセージブロッキングリクエストは、前記ブロッキングピリオドの間の少なくとも 1 つの受け入れインターバルを特定し、前記受け入れインターバルは、少なくとも 1 つのメッセージが前記第 2 の移動体交換センター (MSC) から前記第 1 の移動体交換センター (MSC) へ通信され得るピリオドであることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】

前記メッセージブロッキングリクエストは、メッセージを前記第 2 の移動体交換センター

(MSC) から前記第 1 の移動体交換センター (MSC) へ通信する代わりに、前記第 2 の移動体交換センター (MSC) によりとられるべきアクションを特定することを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 8】

前記システム制御機能コンポーネントは、前記メッセージブロッキングリクエスト中で特定されたアクションを修正することができることを特徴とする請求項 7 記載の方法。

【請求項 9】

前記アクションが、前記第 2 の移動体交換センター (MSC) から、特定された代替的宛先へ、前記メッセージを通信することを含むことを特徴とする請求項 7 記載の方法。